

# 研究内容説明書

## 1. 課題名

日本における成人のトランスジェンダー当事者の健康診断の際に直面したポジティブ・ネガティブな経験

## 2. 研究背景

日本にいらっしゃるトランスジェンダー当事者の方は、日常生活における困りごとに多く直面するといわれており、医療に関わる場面も例外ではありません。さらに、トランスジェンダー当事者の多くの方が経験される学校や就業先での健康診断では、受診する環境や期日などに制限があり、より一層困りごとに直面しやすい場であることが考えられています。しかし、トランスジェンダー当事者の健康診断に着目した研究は少なく、アンケート調査の報告にとどまっており、トランスジェンダー当事者が健康診断の際に直面した具体的な経験については明らかになっておりません。

トランスジェンダー当事者の多くが経験すると想定される健康診断における経験を、ポジティブ・ネガティブな観点から明らかにすることは、トランスジェンダー当事者が安心して健康診断を受けるための支援を検討するにあたり極めて重要であり、喫緊の課題であると考えられます。

## 3. 目的

トランスジェンダー当事者が健康診断を受ける際にどのような場面（時期、医療者とのやりとり、環境など）でどのような思いを抱いたのか、当事者が直面した満足感につながるポジティブな経験と、困難や障壁であり不満足の原因であるネガティブな経験などの詳細に明らかにすることです。

## 4. 研究意義

トランスジェンダー当事者へこれまでの健康診断の際に直面した経験についてお話を伺うことで、ポジティブな経験はより良い看護支援へ、ネガティブな経験は解決すべき課題として明らかにすることができ、今後の日本における健康診断で、トランスジェンダー当事者が安心して受診できる環境を整えるための示唆を得ることができると考えております。

## 5. 研究の方法

### 1) 対象者の選択基準

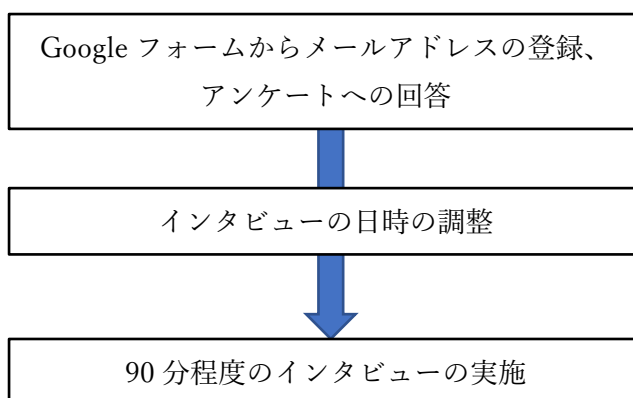
- ① 研究への参加意思のある方
- ② 18歳以上の方
- ③ 生まれ持った性別と自分が思っている/イメージしている性別が一致していないと感じている方  
(治療を受けているかどうか、どの程度治療を受けているかは問いません)
- ④ これまでに日本で学校健診や就業先で健康診断(雇入れ時健診・定期検診)を受けたことがある方
- ⑤ 日本語を理解し話すことができる方

## 2) 調査方法

- ・ インタビューは 90 分程度の半構造化面接です。
- ・ インタビューは対面またはオンラインで行います。対面の場合には、ご希望の場所または筑波大学共同利用棟 B で実施します。
- ・ インタビューは原則 1 回の予定ですが、同意が得られた方には、後日インタビューの内容の確認や、追加でのインタビューをお願いすることがあります。
- ・ インタビューは、お話しいただく内容を正確に記録するため、IC レコーダーを用いて録音させていただきます。IC レコーダーへの録音を希望されない場合は、質問へご回答いただいた内容を研究ノートへその都度記録させていただきます。また、ご回答いただいた内容を正確に記録・分析するために、追加調査をお願いすることがあります。

## 3) 調査のながれ

調査のながれは以下のようになります。



## 4) 調査期間

医の倫理委員会承認後～2023 年 12 月末日

## 6. 研究に同意していただける場合

インタビュー実施前に、研究内容説明書を読んでいただき、また研究者による研究の説明を聞いた上で、ご理解いただけましたら、その場で同意書にご署名をお願いいたします。なお、オンラインでのインタビューを実施する場合には、メールに添付した同意書にご署名の上、ご署名いただいた同意書をカメラにうつして見せていただき、インタビュー後にメール添付にて返信をお願いいたします。

## 7. 研究の同意撤回を行う場合

同意は、あくまでも自由意思によるものであるため、研究の都合上、分析前までであれば、随時撤回できます。もし同意撤回を希望される場合は、電話、口頭、メール、文書等の方法で研究者までご連絡ください。

## 8. 倫理的配慮

本研究は筑波大学医学医療系医の倫理委員会の承認を得て行われます(承認番号;1883)。研究を実施する上では、以下の点に配慮します。

#### 1) 研究等の対象となる個人の人権保護及び安全の保持

- ① 研究への参加は、皆様の自由意思によるものです。同意した後でもインタビュー終了日まで、電話、口頭、メール、文書等のいずれにおいても随時撤回することができます。
- ② 研究に参加しないことで不利益が生じることはありません。
- ③ 研究参加にご協力いただける方は、Google フォームでメールアドレスのご登録とアンケートの回答をお願いいたします。Google フォーム送信後、研究者からメールにてインタビューの日時のスケジュールの連絡をさせていただきます。
- ④ ご記入いただいたデータやお話いただいたデータについては ID 番号で管理させていただきます。
- ⑤ メールでのご連絡につきましても、個人情報保護のため、氏名の代わりに ID 番号を使用させていただきますのでご了承ください。
- ⑥ インタビュー当日の体調がすぐれない場合は、同意の撤回あるいはインタビュー日時の変更が可能ですので、遠慮なくお申し付けください。
- ⑦ インタビューにおいて話したくない内容は無理に話すことを強要することはありません。
- ⑧ インタビューの途中で負担を感じた場合は、インタビューを中止することができます。
- ⑨ 研究の説明時、インタビューの途中、研究終了時のいずれの時期においても、研究対象者が何らかの形で研究の中止や返答の拒否を申し出た際は、その意思を尊重します。
- ⑩ インタビューは対面とオンラインのいずれにおいても、個室を使用し、第三者に聞かれることがないようにします。
- ⑪ インタビューの際には、本名ではなく、希望する通称を使用することができます。

#### 2) データの保管、管理、破棄

- ① インタビューにおいてデータ録音時から匿名化して行います。
- ② データは個人が特定されないようにした上で分析を行います。
- ③ 得られたデータは研究目的以外に使用することはありません。
- ④ 事前に紙媒体で作成する「匿名化対応表」に連絡調整のために知り得た氏名と通称名、研究 ID を記載します。
- ⑤ 「匿名化対応表」は匿名化責任者(情報管理担当者)を設置し、情報管理担当者が施錠可能な部屋の中にある施錠可能な棚に入れて厳重に管理します。
- ⑥ 匿名化は研究協力の同意を同意書により得た時点で行います。データには個人名は記さず、研究 ID で管理します。質問紙、インタビュー録音データ、逐語録に研究 ID をつけます。
- ⑦ 個人が特定される情報について、施設外に持ち出すことはありません。
- ⑧ 得られたデータは、固有名詞はアルファベットに変換するなど、個人情報がわからないように完全に匿名化して取り扱います。
- ⑨ 研究参加者の同意が得られた場合、IC レコーダーに録音させていただきます。IC レコーダーへの録音を希望されない場合は、質問へご回答いただいた内容を研究ノートへその都度記

録させていただきます。また、ご回答いただいた内容を正確に記録・分析するために、追加調査をお願いすることがあります。

- ⑩ データの処理には、インターネットやその他の一切のコンピューターと切り離すなどの措置を講じたパソコンを使用するとともに、データはパスワードを設定した USB に保管します。
- ⑪ データを保管した USB は筑波大学イノベーション棟 204 地域健康・公衆衛生看護学研究室内の施錠できる棚に保管し、鍵の管理は研究者が行います。
- ⑫ 得られたデータは本研究の目的以外に使用せず、研究終了後は完全に消去します。また、インタビューの逐語録は、学会発表あるいは論文化した後はシュレッダーで粉碎し、廃棄します。
- ⑬ 本研究は看護研究として実施するものであり、結果は論文や学会発表という形で公表します。研究の公表を行う際も、匿名化した個人が特定されない形で行います。
- ⑭ 研究によって得られた個人の回答を、研究対象者が利用している施設や医療機関、職場や団体などが確認することは一切なく、さらに研究者以外の者が情報を用いることはありません。
- ⑮ 必要に応じて、個人情報等の保護に支障がない範囲で研究計画書および研究方法に関する資料を開示いたします。下記の連絡先までお問い合わせください。

#### 9. 謝礼；1,500 円相当のギフトカード

本研究についてご不明な点やご意見などがございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

**【研究責任者】**

筑波大学大学院  
地域健康・公衆衛生看護学研究室  
研究責任者：大宮 朋子

研究実施担当者・問い合わせ先：平城 諒子  
Tel：080-4957-0415 (平城)  
E mail: [s2121344@s.tsukuba.ac.jp](mailto:s2121344@s.tsukuba.ac.jp) (平城)